

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 教育総務課
-----------	-------------

コード	V-12-25	施策名	教育環境の整備・充実	
まちづくりの 目標	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っ子が育つまち(学び)		施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる
5年後の めざす姿	教育施設を適切に維持管理することにより、安全で快適な教育環境をめざします。さまざまな教育効果のある小中一貫教育(義務教育学校及び小中一貫校)の導入の検討や、学校の適正配置、安全な通学路や通学方法など、少子化の動向などを見極めながら、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備します。			
施策の課題	急激に進む少子化により、将来的な学校施設の整備方針、通学路の見直し、通学支援や教育支援の検討といった課題が生じています。また、学力向上及び教員の働き方改革推進の課題解決のために情報機器の導入や充実を進め、ICT教育の推進、教員の活用能力向上や家庭学習へのタブレット端末の活用推進を図ります。			

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	小中一貫校の整備に向けた検討	小中一貫校の整備を検討する対象数(ブロック数)	目標	ブロック		0	0	0	0	1
			実績		0	0	0	0		
			達成率	%		-	-	-	#DIV/0!	
	ICT機器(タブレット)整備割合	2023(令和5)年度までに児童・生徒一人1台の端末整備	目標	%		100.0	100.0	100.0	100	
			実績		18.2	100.0	100.0	100.0	100	
			達成率	%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	ICT機器(電子黒板)の整備	全体の電子黒板導入台数(169台)に対する累計の導入台数の割合(%)	目標	導入%(累計)		-	-	13.6	62.6	100.0
			実績		-	-	-	13.6	13.6	
			達成率	%				100.0%	21.7%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	小中一貫校の整備に向けた検討については、本年度、公立学校のあり方に関する基本方針を策定しました。取組が検討過程であることから、本年度実績は0となっています。ICT機器(タブレット)整備の指標が達成したことから、令和4年度からICT教育環境整備として、次のステップとなる電子黒板の整備を指標として設定しています。電子黒板を試験導入している3校で、本年度、導入効果等の検証を行いました。							
		指標達成に向け今後の流れ	小中一貫校の整備に向けた検討については、令和6年度に公立学校のあり方に関する基本計画(案)を策定するため、その計画の中で協議検討します。令和4~令和8年度まで段階的整備としていた電子黒板を令和6年度に小中全校へ前倒し整備、整備率100%となる見込みです。タブレット端末の更新を令和7年に予定しており、その際は国の補助が受けられる見込みです。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
強化領域	2.63	2.00	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	
			81.65%
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	強化領域	強化領域	強化領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1 小学校施設補修工事費	小学校の施設改修工事費用	教育総務課	17,859	98,928	無	—	—	—	
2 小学校施設等補修修繕	小学校の施設等の修繕費用	教育総務課	8,277	6,900	無	—	—	—	
3 中学校施設補修工事費	中学校の施設改修工事費用	教育総務課	6,486	18,283	無	—	—	—	
4 中学校施設等補修修繕	中学校の施設等の修繕費用	教育総務課	4,019	3,420	無	—	—	—	
5 スクールバス等運行事業	遠距離通学に伴う児童・生徒の通学支援を行う	教育総務課	34,675	35,781	有	概ね順調	強化	貢献度大	
6 電子黒板導入モデル事業	電子黒板を試験導入し、その効果及び活用方法などを検証する	学校教育課	5,010	—	無	—	—	—	
7 デジタルドリル教材	全児童生徒のタブレット端末にデジタルドリル教材を導入し、学校及び家庭学習を効果的に進める環境づくりを行う	学校教育課	4,685	4,634	無	—	—	—	
8 ICT支援員業務委託料	ICT支援員を配置することで各校へのサポートを行う	学校教育課	13,167	13,200	無	—	—	—	
9 高校生バス通学用定期券購入助成事業	市内の子どもたちが、できるだけ市内の高等学校に通うことができるよう、通学補助を行う	秘書・総合政策課	3,480	3,916	有	概ね順調	向上	貢献度大	
10 夢応援教育ローン利子補給金	市と契約した金融機関から借り入れる教育ローンにかかる利子を市が補給	秘書・総合政策課	2,511	2,983	有	概ね順調	強化	貢献度大	
合計			100,169	188,045	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

小中一貫校の整備に向けたあり方については、令和6年度に臼杵市公立学校のあり方検討委員会において、公立学校のあり方に関する基本計画(案)を策定する中で協議検討を行っていきます。学校の施設・整備については、適宜修繕等を行います。大規模改修等については将来の適正配置と併せて検討する必要があると考えています。ICT教育の推進には、来年度未設置校への電子黒板の環境整備が整います。より活用・使いこなしていく取り組みが求められる中、教員のICT活用能力の向上や「トライ&エラー」、まずは使ってみることやメリットを実感しやすい仕組みづくりを行います。また、少子化に伴う学校給食の食数減少や施設、機器等の老朽化等により、給食の安定的な提供に対するリスクが高まっており、本市の将来にわたる学校給食事業のあり方についての検討が求められています。各事務事業の持つ課題解消に向け取組を進めてまいります。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化 .. 現状より強化を図る
○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価> .. 評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	タブレットについては、導入して一定程度年数が経過しており、劣化による使用不可の機種が増加することが想定されます。よって、生徒が授業で使用する際に不具合が生じないよう適切な維持に努めていくことが大事になります。また、電子黒板を導入するにあたり、授業で速やかに活用されるよう早期に発注し、配備後は利活用されるよう電子黒板の操作熟度をあげていくことが大事と考えます。